

平成 29 年 1 月 19 日

各 位

会 社 名 : 日本エンタープライズ株式会社  
代 表 者 名 : 代表取締役社長 植田 勝典  
(コード番号 4829 東証第一部)  
問合せ先責任者 : 常務取締役 田中 勝  
T E L : 0 3 - 5 7 7 4 - 5 7 3 0

## 【株式会社会津ラボ】 有線ドローン、風力発電設備点検での実用化へ向け 鈴与マタイ株式会社と実証実験を開始！

日本エンタープライズ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:植田勝典)の子会社、株式会社会津ラボ(本社:福島県会津若松市、代表取締役社長:久田雅之、以下会津ラボ)と、環境エネルギー事業を行う鈴与マタイ株式会社(本社:長野県佐久市、代表取締役社長:谷津和孝、以下鈴与マタイ)は、風力発電設備点検での有線ドローン実用化を目指して、実証実験を開始いたしました。

会津ラボは、ドローンを給電設備にケーブルで接続して給電し、長時間飛行を可能にする技術(以下「有線ドローン」)の開発を進めています。また会津大学との産学連携により、「有線給電の単体ドローンならびにドローン群の安定飛行」に関する固有技術の開発を行っています。

今回の実証実験では、4Kカメラを搭載した「有線ドローン」を使用して、鈴与マタイが運営・管理する小形風力発電設備(新潟県柏崎市)の点検を行いました。「有線ドローン」の長時間飛行のメリットを活かし時間をかけて、「主要な点検対象箇所」、「目視確認が難しい箇所」、「ナットやパーツの状態」を様々な角度から撮影し、その後に行われる人的な点検作業に有用な、高精度の映像収録に成功しました。

風力発電設備業界では、ブレード飛散、ハブ・ナセル落下<sup>(※1)</sup>などの重大な事故報告を受けて、保安強化の取組みが進められています。鈴与マタイは、従来の人的な点検に加えて、会津ラボの「有線ドローン」を導入することにより、点検作業の安全性・効率性が飛躍的に向上することを期待しています。

両社は、平成30年度の実用化を目指して、共同検証を進めてまいります。

### 鈴与マタイ株式会社

|               |   |
|---------------|---|
| (1) 名 称       | 鈴与マタイ株式会社   |
| (2) 所 在 地     | 長野県佐久市中込 1-10-1   |
| (3) 代 表 者     | 代表取締役社長 谷津 和孝   |
| (4) 事 業 内 容   | 物流・包装資材事業、商事事業、環境エネルギー事業  |
| (5) 資 本 金     | 5,000 万   |
| (6) 設 立 年 月 日 | 昭和 42 年 2 月 3 日   |
| (7) U R L     | <a href="http://www.newest.ne.jp/">http://www.newest.ne.jp/</a> |

### 本件に関するお問い合わせ

日本エンタープライズ株式会社 管理本部 広報・IR グループ【担当:松本、渡辺】  
TEL:03-5774-5730 FAX:03-5774-5735 MAIL: [ir@nihon-e.co.jp](mailto:ir@nihon-e.co.jp)

<http://www.nihon-e.co.jp/>

(※1) 風力発電システムを構成する要素で、ブレードは羽部、ハブ・ナセルは動力伝達部  
※ 記載されている会社名及び商品名/サービス名は、各社の商標または登録商標です。

平成 29 年 1 月 19 日

各位

会社名：株式会社会津ラボ  
代表者名：代表取締役社長 久田 雅之  
TEL：0242-23-8285

## 【株式会社会津ラボ×鈴与マタイ株式会社】 有線ドローン、風力発電設備点検での 実用化へ向け、実証実験を開始！

株式会社会津ラボ(本社:福島県会津若松市、代表取締役社長:久田雅之、以下会津ラボ)と、環境エネルギー事業を行う鈴与マタイ株式会社(本社:長野県佐久市、代表取締役社長:谷津和孝、以下鈴与マタイ)は、風力発電設備点検での有線ドローン実用化を目指して、実証実験を開始いたしました。

会津ラボは、ドローンを給電設備にケーブルで接続して給電し、長時間飛行を可能にする技術(以下「有線ドローン」)の開発を進めています。また会津大学との産学連携により、「有線給電の単体ドローンならびにドローン群の安定飛行」に関する固有技術の開発を行っています。

今回の実証実験では、4Kカメラを搭載した「有線ドローン」を使用して、鈴与マタイが運営・管理する小形風力発電設備(新潟県柏崎市)の点検を行いました。「有線ドローン」の長時間飛行のメリットを活かし時間をかけて、「主要な点検対象箇所」、「目視確認が難しい箇所」、「ナットやパーツの状態」を様々な角度から撮影し、その後に行われる人的な点検作業に有用な、高精度の映像収録に成功しました。

風力発電設備業界では、ブレード飛散、ハブ・ナセル落下<sup>(※1)</sup>などの重大な事故報告を受けて、保安強化の取組みが進められています。鈴与マタイは、従来の人的な点検に加えて、会津ラボの「有線ドローン」を導入することにより、点検作業の安全性・効率性が飛躍的に向上することを期待しています。

両社は、平成 30 年度の実用化を目指して、共同検証を進めてまいります

### 鈴与マタイ株式会社

|           |   |
|-----------|---|
| (1) 名称    | 鈴与マタイ株式会社   |
| (2) 所在地   | 長野県佐久市中込 1-10-1   |
| (3) 代表者   | 代表取締役社長 谷津 和孝   |
| (4) 事業内容  | 物流・包装資材事業、商事事業、環境エネルギー事業  |
| (5) 資本金   | 5,000 万   |
| (6) 設立年月日 | 昭和 42 年 2 月 3 日   |
| (7) URL   | <a href="http://www.newest.ne.jp/">http://www.newest.ne.jp/</a> |

<http://www.aizulab.com/>

(※1) 風力発電システムを構成する要素で、ブレードは羽部、ハブ・ナセルは動力伝達部  
※ 記載されている会社名及び商品名/サービス名は、各社の商標または登録商標です。

## 実証実験の様子



鈴与マタイが管理する小型風車  
新潟県柏崎市椎谷

目視では難しい箇所もドローンで撮影



※バッテリー交換をせずに長時間飛行できる「有線ドローン」の特徴を活かし、風車の様々な箇所を長時間かけて撮影しました。一度の飛行で複数台の風車を点検することも可能です。

## 株式会社会津ラボ

コンピュータ理工学を専門とする国際色豊かな公立大学法人「会津大学」(平成5年4月開学)の第1期生が、平成19年1月に設立。平成24年4月に商号を株式会社会津ラボへ改めました。会津ラボは、「会津大学」の大学発ベンチャー企業として公式認定を受けています。「会津大学」建学の理念“to advance knowledge for humanity”を掲げ、人類の為になる高度な知識と技術を世の中へ創出してまいります。

|           |   |
|-----------|---|
| (1) 名称    | 株式会社会津ラボ  |
| (2) 所在地   | 福島県会津若松市インター西 53 2F   |
| (3) 代表者   | 代表取締役社長 久田 雅之   |
| (4) 事業内容  | iOS/Android 対応アプリケーションの開発/研究開発<br>ホームページ制作/3DCG 作成/映像加工/イラスト作成/各種デザイン |
| (5) 資本金   | 2,950 万   |
| (6) 設立年月日 | 平成 19 年 1 月 4 日   |
| (7) U R L | <a href="http://www.aizulab.com/">http://www.aizulab.com/</a>         |

## 本件に関するお問い合わせ

株式会社会津ラボ 【担当:久田、遠藤】

TEL:0242-23-8285 FAX:0242-23-8286 MAIL:[info@aizulab.com](mailto:info@aizulab.com)

<http://www.aizulab.com/>

※ 記載されている会社名及び商品名/サービス名は、各社の商標または登録商標です。